

ホタルやクラゲの光は役に立つ

2008年度ノーベル化学賞は、光るクラゲの発光する仕組みを研究されていた下村 脩博士に授与されました。下村先生がどのようにしてノーベル賞に輝いたかお話しします。また、ホタルやオワンクラゲをはじめとして自然界の発光生物がどのように光を放つか、そのメカニズムも解りやすく解説します。さらには、このような生物発光の仕組みが私たちの身近なところで役立っていることをご紹介します予定です。

【期 日】 平成21年 9月 28日(月)～30日(水)

【時 間】 18:00～19:30(3日間とも)

【講 師】 電気通信大学 量子・物質工学科 教授 丹羽 治樹

【会 場】 電気通信大学 80周年記念館3階フォーラム
[京王線調布駅北口から徒歩5分]

【受講料】 無料

【募集対象・人数】 一般の方(大学生以上) (先着順 80名)

【申込方法】 ホームページ、電話または郵便で受付

電気通信大学研究協力課 (TEL 042-443-5925)

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

<http://www.uec.ac.jp/corpo/lec.html>



ヘイケボタル



オワンクラゲ